

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

社会福祉運営事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 部内各課の事務事業の執行を支援するため。

効果 施策推進のための後方支援の体制が確保される。

【事業の内容】

(1) 社会福祉運営事業

- ・社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器借料や保守に係る経費を執行した。
- ・ホストコンピュータ廃止に伴う福祉総合システムの改修を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

基幹業務システムの再整備(6-1-3-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,886	37,555	37,482		73
主な支出内訳				
・社会福祉運営事業				
福祉総合システム等消耗品費				1,028
福祉総合システムソフトウェア保守委託料				4,309
福祉総合システム改修業務委託料				9,516
草刈業務委託料				37
緊急援護貸付事業委託料				430
福祉総合システム機器借料				22,162
主な特定財源				
・国県支出金				8

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当を除く)・

高齢者いきいき課(介護保険担当を除く)・障害者福祉課・保険年金課(年金担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		319,705
・ 給料	一般職	150,617
	一般職職員	41人
	再任用(短時間)	3人
・ 職員手当等		119,712
	扶養手当	3,826
	地域手当	20,797
	通勤手当	3,816
	超過勤務手当	18,883
	休日給	183
	管理職手当	4,762
	特殊勤務手当	569
	期末勤勉手当	59,324
	住居手当	6,082
	管理職員特別勤務手当	0
	子ども手当	300
	児童手当	1,170
・ 共済費		49,376
	市町村職員共済組合負担金	49,292
	雇用保険料	84

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

民生委員児童委員活動推進事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【事業の内容】

(1) 民生委員児童委員活動推進事業

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,976	38,976	38,845		131
主な支出内訳				
・ 民生委員児童委員活動推進事業				
民生総務嘱託員報酬 20人				3,672
民生嘱託員報酬 204人				30,062
民生委員推薦会報酬 5人				92
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
民生委員・児童委員協議会補助金				2,816
主な特定財源				
・ 国県支出金				14,250

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会福祉協議会支援事業

福祉総務課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 事業補助を行うことにより社会福祉協議会の財政基盤を安定させる。

【事業の内容】

(1) 社会福祉協議会支援事業

- ・社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,073	52,073	52,073		0

主な支出内訳

- ・社会福祉協議会支援事業

鎌倉市社会福祉協議会補助金

52,073

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会を明るくする運動事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉地区保護司会及び市民

意図 「社会を明るくする運動」を通じて、犯罪や非行のない明るい社会を築くため。

効果 犯罪や非行を犯した人達の更生援助と少年非行の防止活動を行い、明るい市民生活の実現を目指す。

【事業の内容】

(1) 社会を明るくする運動事業

- ・ポスターコンテストや講演会などを保護司会とともに行った。
- ・更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
210	210	209		1
主な支出内訳				
・社会を明るくする運動事業				
ポスターコンテスト関連消耗品費				4
保護司会補助金				205

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 戦没者の遺族と市民

意図 戦没者の追悼と、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活を援護し、保障する。

【事業の内容】

(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護事業

- ・戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
706	706	701		5
主な支出内訳				
・戦傷病者戦没者遺族等援護事業				
戦没者追悼式参列者記念品				147
戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料				58
戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料				231
鎌倉市遺族会補助金				180
主な特定財源				
・国県支出金				99

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

原爆被爆者援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市被爆者の会及び原子爆弾被爆者

意図 原子爆弾被爆者に対し、援護を行うため。

効果 原子爆弾被爆者の生活の安定及び福祉の増進を図る。

【事業の内容】

(1) 原爆被爆者援護事業

- ・鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,913	3,913	3,795		118

主な支出内訳

・原爆被爆者援護事業

鎌倉市被爆者の会補助金

85

被爆者援護手当 160人

3,710

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【事業の内容】

(1) 行旅病人死亡人援護事業

- ・行旅病人の援護については対象者がいなかった。
- ・行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,125	1,125	1,022		103
主な支出内訳				
・ 行旅病人死亡人援護事業				
行旅死亡人遺骨保管謝礼				90
行旅死亡人官報公告掲載料				13
行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料				919
主な特定財源				
・ 国県支出金				241

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

中国残留邦人等支援事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【事業の内容】

(1) 中国残留邦人等支援事業

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対する生活支援給付金の支給については、対象者がいなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10

主な支出内訳

- ・中国残留邦人等支援事業
生活支援扶助費

0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

住宅手当緊急特別措置事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 平成19年10月1日以降に離職した者で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者

意図 住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うため。

効果 対象者が住宅の確保等の支援を受けながら、再就職の実現に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 住宅手当緊急特別措置事業

- ・対象者に住宅手当を支給した。
- ・住宅確保・就労支援員による就労確保のための支援などを行うことにより、常用就職に向けた援助を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,292	18,433	16,058		2,375
主な支出内訳				
・住宅手当緊急特別措置事業				
住宅確保・就労支援員報酬 2人				3,110
住宅確保・就労支援員費用弁償				213
住宅手当扶助費 単身世帯 39世帯				12,706
複数世帯 20世帯				
主な特定財源				
・国県支出金				16,058

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎保健福祉政策の経費

啓発事業

【 福祉総務課・高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の推進
地域福祉の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティーや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【事業の内容】

(1) 啓発事業

- ・福祉有償運送事業に関する事務を行った。
- ・市社会福祉協議会との協働事業として、地域福祉支援室を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域福祉の推進(7-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,285	4,285	4,275		10

主な支出内訳

・啓発事業

横須賀・三浦地区福祉有償運送市町共同運営協議会等消耗品費

0

地域福祉支援室事業負担金

4,275

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国民健康保険高額療養資金貸付事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市国民健康保険の被保険者の属する世帯

意図 高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けるため。

効果 被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。

【事業の内容】

(1) 国民健康保険高額療養資金貸付事業

- ・高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うものであるが、申請者がいないため執行しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100	100	0		100

主な支出内訳

- ・国民健康保険高額療養資金貸付事業
国民健康保険高額療養資金貸付金

0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国保組合支援事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【事業の内容】

(1) 国保組合支援事業

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人当たりに70円を補助金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
80	80	78		2
主な支出内訳				
・ 国保組合支援事業				
県建設連合国保組合補助金				47
県建設業国保組合補助金				31

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 10社会福祉施設費

◎福祉センターの経費

福祉センター管理運営事業

【

福祉総務課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【事業の内容】

(1) 福祉センター管理運営事業

- ・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,858	39,858	36,751		3,107
主な支出内訳				
・福祉センター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				232
光熱水費				10,832
維持修繕料				1,697
消防設備・非常用警報(放送)設備保守点検手数料				200
自家用電気工作物保守点検手数料				185
熱源機器保守点検手数料				908
昇降機保守点検手数料				668
受水槽法定点検等手数料				477
総合管理業務委託料				20,833
警備業務委託料				277
自動ドア保守点検委託料				187
電話設備保守点検委託料				139
樹木伐採業務委託料				0

◎障害者福祉の経費

障害者福祉運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者福祉運営事業

- ・障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・障害者自立支援法に基づく事業の執行管理等を行った。
- ・障害者団体等への支援を行った。
- ・障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・失語症者等成人言語障害者への支援を行った。
- ・在宅の障害者の日中活動の場を確保し、障害の特性に応じた作業の場を提供し、地域社会との交流を促進し障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業の実施を委託した。

(2) 障害者生活支援事業

- ・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当等を対象者に給付し、障害者の生活の安定及び福祉の向上を図った。

(3) 外国籍等障害者福祉給付金支給事業

- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給し、福祉の向上を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域活動支援センター事業等への支援(4-1-2-③)

障害者福祉計画の改定と推進(4-1-2-⑦)

障害者の相談支援体制の充実(4-1-2-⑧)

失語症等成人言語障害者への支援(4-1-2-26)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
416,394	419,630	399,192		20,438
主な支出内訳				
・障害者福祉運営事業				
総合相談窓口非常勤嘱託員報酬	6人			6,169
障害者介護給付費等審査会委員報酬	15人			3,387
給付費等事務補助臨時的任用職員賃金				1,203
地域自立支援協議会報償費				356
障害者福祉計画推進委員会報償費				104
障害者施設訪問歯科検診報償費				903
自立支援法医師意見書作成手数料				1,378
給付費等支払システム運営手数料				3,171

成年後見市長申立手数料	0
手話通訳者等保険料	18
障害者地域活動支援センター運営事業委託料 11カ所	182,726
給付費等支払システム機器保守等委託料	0
障害者相談支援事業運営委託料	10,900
障害者福祉計画点字版等作成委託料	492
成年後見制度利用支援業務委託料	525
ケアマネジメント業務等委託料	72
障害者自立支援システム改修業務委託料	5,667
失語症等成人中途言語障害者支援事業負担金	404
地域生活サポートセンター事業補助金(余暇活動支援事業)	1,700
地域活動支援センター事業補助金(フリースペース事業)	1,056
鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	158
鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	158
青い麦の会事業運営費補助金	137
鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	248
鎌倉市腎友会補助金	43
神奈川県障害者スポーツ振興協議会運営費補助金	30
・ 障害者生活支援事業	
扶養共済掛金助成費	2,600
施設等通所者交通費助成費	35,586
特別障害者手当等	34,902
福祉手当	103,800
・ 外国籍等障害者福祉給付金支給事業	
福祉給付金	312
主な特定財源	
・ 国県支出金	65,608

扶養共済掛金助成費

全額助成した者	延	117 人	(12人)	1,009 千円
半額助成した者	延	274 人	(29人)	1,591 千円
計		391 人	(41人)	2,600 千円

施設等通所者交通費助成費

地域活動支援センター	延	576 人	(62人)	3,442 千円
就労支援	延	1,645 人	(169人)	13,626 千円
自立訓練	延	18 人	(2人)	301 千円
生活支援	延	2,045 人	(195人)	17,947 千円
指定医療機関	延	25 人	(3人)	270 千円
計	延	4,309 人	(431人)	35,586 千円

福祉手当

国の制度	月額	2月～3月分	14,330 円	障害児福祉手当及び経過措置分福祉手当
		4月～1月分	14,250 円	
		2月～3月分	26,340 円	特別障害者手当
		4月～1月分	26,260 円	
	延人員	1,602 人	(157人)	34,902 千円
国庫				26,214 千円
市の制度	月額	2,500円		
	延人員	41,850人	(7,073人)	103,800 千円
計				138,702 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者施設福祉事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等の身体機能の回復及び職能訓練、更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 障害者等の自立更生・社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者施設福祉事業

- ・施設入所・通所している障害者等への施設訓練費等の支給を行った。
- ・進行性筋萎縮症者に対する身体機能の維持を図るための治療、訓練に係る費用の支給を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
232,784	272,466	257,862		14,604

主な支出内訳

・障害者施設福祉事業

知的障害者施設入所・通所者支援費等 延4,185人	11,436
療養介護給付費 延107人	24,612
施設入所補足給付等	191,158
自立訓練給付費	23,254

主な特定財源

・国県支出金	171,191
--------	---------

自立支援給付事業

障害福祉サービス給付費等	施設訓練給付	身体障害入所更生施設	0 件	0 円
		身体障害療護施設	0 件	0 円
		身体障害通所授産施設	0 件	0 円
		知的障害入所更生施設	4 件	898,179 円
		知的障害通所更生施設	56 件	4,491,573 円
		知的障害入所授産施設	0 件	0 円
		知的障害通所授産施設	69 件	6,045,920 円
		知的障害通勤寮	0 件	0 円
		療養介護	107 件	24,612,030 円
		自立訓練	231 件	23,253,972 円
		施設入所支援	1,407 件	162,810,104 円
		施設入所補足給付	- 件	28,348,258 円
		合計	1,874 件	250,460,036 円
		国庫		113,914 千円
		県費		57,277 千円

◎障害者福祉の経費

障害者在宅福祉事業

【 発達支援室・障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等に福祉サービスを提供し、在宅生活の向上と日常生活の利便性を図るため。

効果 障害者等が地域の中で自立した生活を送る。

【事業の内容】

(1) 障害者在宅福祉事業

- ・ 障害者がホームヘルプサービス等の居宅サービスを利用した場合に居宅介護給付等の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ デイサービスでの入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ 障害者への虐待防止及び養護者に対する支援事業を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者グループホーム等への支援(4-1-2-②)

障害児通園支援(4-1-2-⑭)

障害福祉サービス利用者負担の軽減(4-1-2-⑮)

在宅重度身体障害者生活介護支援(4-1-2-⑱)

広域連携による重度障害者短期入所事業所の整備と支援(4-1-2-27)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,325,820	1,517,950	1,487,684		30,266
主な支出内訳				
・ 障害者在宅福祉事業				
身体障害者訪問入浴サービス事業委託料				3,973
難病患者等ホームヘルプサービス事業委託料				0
精神障害者ホームヘルプサービス事業等委託料				0
障害者虐待防止普及及び啓発パンフレットの作成委託料				368
障害者緊急一時保護事業委託料				157
短期入所拠点事業所配置事業負担金				218
重度障害者住宅設備改造費補助金				3,240
障害者グループホーム家賃費補助金				338
在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金				8,794
在宅精神障害者社会復帰対策推進事業費補助金				0
地域生活サポート事業補助金				5,279
グループホーム設置費補助金				1,600
日常生活用具給付費				35,996
補装具給付費				28,797

更生医療給付費	108,262
短期入所費	57,892
居宅介護支援給付費	101,026
生活介護給付費	769,091
グループホーム等入居費	157,502
移動介護給付費	66,917
児童発達支援給付費	72,037
放課後等デイサービス事業給付費	11,528
障害福祉サービス利用助成費	336
障害児通園支援助成費	29
自立支援法サービス利用計画作成費	2,884

主な特定財源

・ 国県支出金	1,044,288
---------	-----------

重度障害者住宅設備改造費補助金
助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良箇所重複あり)	7件
浴室 2ヵ所	玄関 3ヵ所
便所 1ヵ所	廊下 2ヵ所
台所	その他 4ヵ所
県費	1,436 千円

日常生活用具給付費
品目別給付状況

電気式たん吸引器	9 件
拡大読書器	15 件
介護用ベット	3 件
入浴補助具	7 件
聴覚障害者用通信装置	0 件
ストマ用装具	3,187 件
その他	37 件
合計	3,258 件

身体障害児者補装具交付事業

補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況

区分	交付			修理		
名称	公費負担		自己負担額扶助	公費負担		自己負担額扶助
	件数	金額(千円)	金額(千円)	件数	金額(千円)	金額(千円)
義肢	6	2,017	146	9	2,269	78
装具	75	6,531	1,387	46	936	43
補聴器	61	4,033	233	34	744	66
車いす	17	3,405	91	55	2,858	430
その他	40	2,998	222	6	295	14
合計	199	18,984	2,079	150	7,102	631
				国庫	16,858 千円	
				県費	8,642 千円	

更生医療給付費
給付利用者の状況

じん臓機能障害	35 人
肢体不自由	4 人
その他	14 人
計	53 人 延 716 人

自立支援給付支給事業

障害者 福祉 サービス給付 費等	地域生活支援 事業	日中一時支援	22 件	475,800 円
		経過的デイサービス	0 件	0 円
		移動支援	2,395 件	66,917,110 円
		地域活動支援センター	0 件	0 円
	居宅介護(身体・知的・児童・精神)		1,514 件	101,025,822 円
	重度訪問介護		12 件	4,871,018 円
	行動支援		242 件	9,521,262 円
	同行援護		309 件	14,135,301 円
	生活介護		4,122 件	769,090,549 円
	児童デイサービス		40 件	1,314,888 円
	短期入所(身体・知的・児童)		1,005 件	57,892,327 円
	県単独短期入所加算		595 件	10,012,800 円
	共同生活介護		1,271 件	142,765,651 円
	共同生活援助		275 件	14,736,641 円
	相談支援		9 件	119,250 円
	障害児給 付費等	計画相談支援		178 件
地域移行支援		2 件	77,964 円	
地域定着支援		7 件	22,428 円	
児童発達支援		769 件	72,036,911 円	
放課後等デイサービス		407 件	11,527,573 円	
合計		13,174 件	1,279,426,895 円	
		国庫	603,649 千円	
		県費	315,907 千円	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者社会参加促進事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者社会参加促進事業

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週3回、半日、障害者福祉課窓口配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

福祉タクシー券・ガソリン券等の交付(4-1-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,088	44,083	38,822		5,261
主な支出内訳				
・ 障害者社会参加促進事業				
手話通訳嘱託員報酬 1人				781
手話通訳者等派遣報償費				1,648
手話講習会開催等委託料				1,307
障害者ふれあいフェスティバル開催負担金				350
身体障害者自動車改造費助成費				100
身体障害者自動車運転訓練費助成費				0
福祉タクシー利用料金等助成費				33,337
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,625
福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況				
タクシー利用券	延 39,327 枚	1,343 人	19,797 千円	
自動車燃料費助成券	延 8,811 枚	898 人	13,217 千円	
福祉有償運送助成券	延 1,076 枚	62 人	323 千円	
合計			33,337 千円	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者就労支援事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場の確保

【事業の内容】

(1) 障害者就労支援事業

- ・在宅の障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・雇用の促進と就労の安定化を図るため、就労後の定着支援事業を行った。
- ・就労支援のための訓練等給付費を支給し、家賃助成を行った。
- ・障害者の就労をサポートする就労支援員の養成及び派遣事業を市民活動団体と協働して行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域活動支援センター事業等への支援(4-1-2-③)

障害者の就労支援体制の充実(4-1-5-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
348,500	350,570	345,635		4,935
主な支出内訳				
・ 障害者就労支援事業				
障害者雇用奨励金				18,825
雇用促進対策事業報償費				598
就労後アフターケア事業委託料				2,500
障害者就労支援員(ジョブサポーター)派遣事業負担金				386
障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金				9,600
訓練等給付費				313,726
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				232,707

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎発達支援の経費

発達支援事業

発達支援室

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフサイクルにそって、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【事業の内容】

(1) 発達支援事業

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う団体へ補助金を交付した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う「障害児活動支援センター」の運営を指定管理者に委託した。

(2) 特別支援保育助成事業

- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害児放課後・余暇支援事業の推進(4-1-2-⑥)

発達障害児者への支援(4-1-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,044	58,039	56,941		1,098
主な支出内訳				
・発達支援事業				
発達支援嘱託員報酬				
理学療法士	2人			4,875
言語聴覚士	5人			9,751
心理士	4人			7,081
保育士	1人			1,065
作業療法士	2人			2,450
嘱託医報酬				
小児神経科医師	1人			791
整形外科医師	1人			791
リハビリテーション医師	1人			1,582
発達支援委員会委員報酬	6人			124
障害児活動支援センター指定管理者選定委員会委員報酬	5人			84
講演会等講師謝礼				90
発達支援委員会委員費用弁償				2
障害児放課後・余暇支援事業委託料				9,450
障害児放課後・余暇支援事業補助金				9,542
・特別支援保育助成事業				
特別支援保育運営費補助金				8,419

主な特定財源

・ 国県支出金

3,092

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	97人
	言語聴覚相談	97人
	リハビリ相談	82人
発達支援指導	発達指導	30人 (延360人)
	心理指導	3人 (延49人)
	言語聴覚指導	114人 (延1,393人)
	リハビリ指導	87人 (延1,125人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	89回 (延258人)
	言語聴覚相談	70回 (延155人)
	リハビリ相談	42回 (延93人)
母子グループ指導		48人 (延486人)

障害児放課後・余暇支援事業

事業所名	実施状況	
障害児活動支援センター	開所日数	305日
	登録者数	103人
	延利用者数	2,392人
のんびりスペース★大船	開所日数	241日
	登録者数	69人
	延利用者数	2,044人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	10 園	・ 36人

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者医療の経費

心身障害者医療助成事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 心身障害者医療助成事業

- 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(一部所得制限あり)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
717,866	742,384	713,968		28,416
主な支出内訳				
・心身障害者医療助成事業				
臨時任用職員賃金				289
医療助成事務用消耗品費				34
受診証印刷製本費				14
診療報酬明細書印刷製本費				0
審査支払手数料				7,726
医療扶助費				705,905
主な特定財源				
・国県支出金				
				133,523
助成件数				
一般保険分	延 78,541件	月平均対象者	2,708人	
後期高齢者医療	延 64,160件	月平均対象者	1,937人	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎障害者自立支援施設の経費

はまなみ運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的障害者

意図 知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) はまなみ運営事業

- ・ 鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,195	35,424	34,681		743
主な支出内訳				
・ はまなみ運営事業				
設備維持修繕料				0
鎌倉はまなみ指定管理料				34,654

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎障害者施設の経費

障害者施設管理運営事業

【 発達支援室 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害児等

意図 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【事業の内容】

(1) 障害者施設管理運営事業

・ 障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,547	1,472	1,413		59

主な支出内訳

・ 障害者施設管理運営事業

障害児放課後・余暇支援施設光熱水費

1,275

電信料

80

ケーブルテレビ等使用料

58

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者福祉運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・福祉ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【事業の内容】

(1) 高齢者福祉運営事業

・ 高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
396	396	162		234

主な支出内訳

・ 高齢者福祉運営事業

高齢者保健福祉計画等推進委員会報償費

132

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設福祉事業

- ・養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,549	66,549	62,849		3,700

主な支出内訳

・ 高齢者施設福祉事業

高齢者措置判定委員会委員等報酬 5人

104

特別養護老人ホーム(プライエムきしろ)土地賃借料

2,131

施設入所者措置費 34人

60,614

措置状況

施設名	延人数(人)	実人数(人)	措置費(千円)
藤沢養護老人ホーム	72	6	10,780
敬愛の園	29	2	5,851
湘風園	19	3	3,505
えびな南養護老人ホーム	36	3	6,883
ひとみ園	12	1	1,599
相模原養護老人ホーム	72	6	13,385
美山ホーム	85	7	12,538
平塚養護老人ホーム	12	1	2,006
横須賀養護老人ホーム	12	1	3,441
養護老人ホーム共楽荘	2	1	399
やむを得ない事由による措置	6	3	227
計	357	34	60,614

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者在宅福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者

意図 高齢者に対し、食、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者在宅福祉事業

- ・ひとり暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸し出しを行った。
- ・低所得でかつ調理が困難等の高齢者に夕食を届けるサービスを行った。
- ・寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・成年後見制度に関する相談業務、普及・啓発活動を行った。
- ・低所得の高齢者に対し、成年後見申立に係る費用の一部助成は、対象者がいなかったため、行わなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,540	26,540	25,255		1,285
主な支出内訳				
・ 高齢者在宅福祉事業				
成年後見市長申立手数料				87
緊急通報システム事業委託料				18,939
配食サービス事業委託料				5,584
訪問理美容サービス事業委託料				42
成年後見相談等業務委託料				525
成年後見制度利用支援補助金				0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【事業の内容】

(1) 高齢者生活支援事業

- ・障害者自立支援法によるホームヘルプサービスを受けていて、境界層該当として定率負担が0円の方に対する訪問介護利用者負担分を軽減は、対象者がいなかったため行わなかった。
- ・要介護3～5の認定者、要支援1・2または要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつを支給した。
- ・一時的に介護者不在となった場合に、要介護者が緊急にショートステイを利用できる体制をとった。
- ・社会福祉法人が運営する施設等の利用者が生活が困難な方に対する利用者負担分の軽減は、対象者がいなかったため、行わなかった。
- ・介護福祉士の資格を新たに取得、またはホームヘルパー2級の研修を受講し、市内の介護保険事業所で就労している方に対し、資格取得助成金を支給した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙おむつの支給(4-1-2-①)

特別ショートステイ受入れ(4-1-2-22)

介護従事者資格取得助成制度(4-1-2-25)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,781	11,032	10,263		769
主な支出内訳				
・ 高齢者生活支援事業				
介護従事者資格取得報償費				500
訪問介護利用者負担軽減措置事業審査手数料				0
紙おむつ支給事業委託料				9,393
緊急ショートステイ受け入れ事業委託料				370
社会福祉法人等利用者負担額軽減制度事業補助金				0
訪問介護利用者負担軽減措置事業扶助費				0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設整備事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設整備事業

- ・腰越地域の老人福祉センター整備予定地の調査、測量等を実施した。

(2) 高齢者施設整備助成事業

- ・認知症対応型グループホーム等の開設に必要な準備経費を対象の2事業所に助成した。
- ・地域包括支援センターのサブセンターの開設に必要な経費を対象の1事業所に助成した。
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業開始に必要な経費を対象の1事業所に助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

腰越地域老人福祉センターの整備(4-1-2-⑬)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	23,090	22,852		238
主な支出内訳				
・ 高齢者施設整備事業				
腰越地域老人福祉センター測量調査等委託料				360
・ 高齢者施設整備助成事業				
施設開設準備経費助成特別対策事業補助金				10,843
地域支え合い体制づくり事業費補助金				2,000
地域介護・福祉空間整備推進交付金補助金				9,649
主な特定財源				
・ 国県支出金				22,730

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎老人医療の経費

老人保健医療事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 75歳以上(一定の障害のある方は65歳以上)の市民等

意図 老人保健医療事業終了後の事務処理を行うため。

効果 老人保健医療事業終了後の事務処理を行い、後期高齢者医療制度への円滑な移行を図る。

【事業の内容】

(1) 老人保健医療事業

- ・医療機関で受診した際、老人保健法一部負担金を控除した額を国民健康保険等の各保険者からの拠出金と国、県、市町村が負担して給付する医療保健制度の運用を行った。
- ・老人保健医療制度に変わって後期高齢者医療制度が施行されたため、平成20年3月診療分までに係る事務を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,031	3,031	913		2,118
主な支出内訳				
・老人保健医療事業				
保険者別医療費通知等手数料				0
診療報酬審査支払手数料				0
医療給付費				0
医療費支給費				0
償還金				913
過誤納還付金				0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

高齢者活動運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 100歳以上の者及び公的年金を受給することができない外国籍市民の高齢者

意図 長年にわたり社会に貢献した高齢者に対して敬愛の意と長寿を祝し、また公的年金を受給できない外国籍市民に給付金を支給することにより福祉の向上を図るため。

効果 長寿のお祝いをすること及び外国籍無年金高齢者の福祉の向上

【事業の内容】

(1) 高齢者活動運営事業

- ・長寿のお祝いとして100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。

(2) 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業

- ・受給者に、月額20,000円を年2回(9月・3月)支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,262	3,262	2,734		528
主な支出内訳				
・ 高齢者活動運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
敬老祝品 100歳以上 112人				504
・ 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業				
福祉給付金				920
主な特定財源				
・ 国県支出金				460

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

社会参加・生きがい対策事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者

意図 高齢者の外出機会の増の支援等を図るため。

効果 高齢者の健康維持及び介護予防を図る。

【事業の内容】

(1) 社会参加・生きがい対策事業

- ・ 65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・ デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。
- ・ 老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

(2) 高齢者活動サービス事業

- ・ 75歳以上の方を対象に市内に路線があるバス会社、江ノ島電鉄の乗車証等を購入する際に助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

高齢者活動サービスの充実(4-1-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,757	54,335	52,563		1,772
主な支出内訳				
・ 社会参加・生きがい対策事業				
高齢者入浴助成事業委託料				15,000
デイ銭湯事業委託料				8,700
いきいきサークル事業委託料				4,380
老人クラブ運営費補助金 76クラブ				4,794
老人クラブ連合会補助金				1,620
・ 高齢者活動サービス事業				
高齢者割引乗車証等購入費補助金				16,632
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,947

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【事業の内容】

(1) シルバー人材センター支援事業

- ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。

(2) シルバー人材センター事業所移設・運営事業

- ・事務所の運営に係る経費を補助した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

シルバー人材センター事業所の移設(4-1-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,280	53,280	52,818		462
主な支出内訳				
・シルバー人材センター支援事業				
全国シルバー人材センター事業協会負担金				0
神奈川県シルバー人材センター連合会負担金				60
シルバー人材センター運営費補助金				41,088
シルバー人材センター運転資金貸付金				7,000
・シルバー人材センター事業所移設・運営事業				
シルバー人材センター事務所補助金				4,670

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

在宅福祉サービスセンター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

【事業の内容】

(1) 在宅福祉サービスセンター管理運営事業

- ・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,788	42,923	41,120		1,803
主な支出内訳				
・ 在宅福祉サービスセンター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				236
光熱水費				16,706
維持修繕料				3,999
備品修繕料				32
電信料				404
自家用電気工作物保守点検手数料				397
消防設備器具保守点検手数料				621
受水槽保守点検手数料				305
昇降機保守点検手数料				1,748
ボイラー保守点検手数料				357
空調保守点検手数料				490
冷温水発生機保守点検手数料				1,077
熱交換器保守点検手数料				363
貯湯槽保守点検手数料				137
給水装置等定期点検手数料				63
総合管理業務委託料				12,377
警備業務委託料				401
自動ドア保守点検業務委託料				283
グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料				265
厨房送風機保守点検業務委託料				80
樹木伐採業務委託料				53
害虫駆除業務委託料				523
自家用電気工作物清掃業務委託料				69
公共用地管理瑕疵賠償金				134

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

老人センター等管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【事業の内容】

(1) 老人センター等管理運営事業

- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び老人いきいの家こゆるぎ荘の管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・ 各センターの施設修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
193,167	191,624	188,152		3,472

主な支出内訳

・ 老人センター等管理運営事業

維持修繕料

17,341

老人福祉センター等指定管理料

170,811

指定管理者リスク分担金

0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 35国民年金事務費

◎国民年金事務の経費

国民年金事務

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定がそこなわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【事業の内容】

(1) 国民年金事務

- ・資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請及び老齢福祉年金諸届等の受理・審査並びに外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談などを行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査などを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
745	745	591		154
主な支出内訳				
・国民年金事務				
臨時的任用職員賃金				228
国民年金事務用消耗品費				167
電子複写機賃借料				186
主な特定財源				
・国県支出金				591

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

児童福祉運営事業

【 こどもみらい課・保育課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【事業の内容】

(1) 児童福祉運営事業

- ・児童福祉審議会を開催しなかった。
- ・市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生担当嘱託員を配置した。
- ・こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。
- ・相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。

(2) 遺児福祉基金積立金

- ・寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

こどもと家庭の相談事業の推進(4-1-4-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,222	25,077	22,340		2,737
主な支出内訳				
・児童福祉運営事業				
児童福祉審議会委員報酬				0
保健衛生担当嘱託員報酬 4人				4,049
事務補助嘱託員報酬 5人				5,141
こどもと家庭の相談室相談員報酬 5人				8,280
要保護児童相談助言者謝礼				80
非常勤嘱託員等費用弁償				694
養育支援訪問事業委託料				0
鎌倉市保育会等補助金				58
・遺児福祉基金積立金				
遺児福祉基金積立金				83
平成24年度こどもと家庭の相談室の相談状況				
相談件数	1,271 件			
うち新規相談	471 件			
(うち新規虐待件数(疑いを含む) 167件)				
うち継続相談	800 件			
主な特定財源				
・国県支出金				4,648

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部(青少年課及び発達支援室発達相談担当の一部を除く)

健康福祉部保険年金課(医療給付担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		1,112,882
・ 給料	一般職	530,911
	一般職職員	145人
	再任用(短時間)	4人
・ 職員手当等		385,094
	扶養手当	7,951
	地域手当	70,746
	通勤手当	12,478
	超過勤務手当	51,959
	休日給	140
	管理職手当	4,578
	特殊勤務手当	964
	期末勤勉手当	210,050
	住居手当	22,228
	子ども手当	710
	児童手当	3,290
・ 共済費		196,877
	市町村職員共済組合負担金	174,697
	社会保険料	18,981
	雇用保険料	3,199

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

子育て支援事業

【 こどもみらい課・こども相談課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【事業の内容】

(1) 子育て支援事業

- ・子育て家庭に情報提供をするために子育て支援コンシェルジュを配置した。
- ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどを開催した。
- ・子育て中の親子に対し身近に集える場を提供し、親子同士が気軽に交流できるようにした。
- ・子育て中の保護者の病気、出産、育児不安などにより、児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護をする事業については申請がなかった。

(2) 在宅子育て家庭支援事業

- ・妊娠中の方や小学生までの子どものいる家庭を対象に、ファミリーサポートセンターの機能を活用して家事支援を実施し子育て負担の軽減を図った。また、ファミリーサポートセンター以外の事業者を利用した場合にも利用料の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援の充実(4-1-4-①)

在宅子育て家庭の支援(4-1-4-⑤)

短期入所生活援助(ショートステイ)事業の実施(4-1-4-⑬)

つどいの広場の実施(4-1-4-21)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,741	11,741	10,419		1,322
主な支出内訳				
・子育て支援事業				
子育て支援コンシェルジュ謝礼				2,314
子育て支援行事等実施委託料				475
子育て親子講座実施委託料				448
つどいの広場事業実施委託料				5,098
子育て短期支援事業業務委託料				0
・在宅子育て家庭支援事業				
在宅子育て家庭支援事業利用料補助金				1,711
主な特定財源				
・国県支出金				
				3,541

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

次世代育成支援対策推進事業

【 こどもみらい課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 市民が安心して子どもを生み育てることができ、子どもが心身ともに健やかに育つことのできる環境を整備するため。

効果 「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現

【事業の内容】

(1) 次世代育成支援対策推進事業

・次世代育成支援対策協議会を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

次世代育成支援対策の推進(4-1-4-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
493	493	291		202

主な支出内訳

・次世代育成支援対策推進事業

次世代育成支援対策協議会委員謝礼

285

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【事業の内容】

(1) 育児支援事業

- ・ ゆとりある子育て環境をつくるため鎌倉、深沢及び大船の子育て支援センターを運営し、子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や育児相談に対応した。また、親子で自由にゆっくりくつろげるフリースペースの「子育てひろば」を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援センターの充実(4-1-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,016	24,016	23,978		38
主な支出内訳				
・ 育児支援事業				
鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料				22,730
主な特定財源				
・ 国県支出金				
子育て支援センター利用状況				
・ 鎌倉子育て支援センター		延 9,560 人		
・ 深沢子育て支援センター		延 5,450 人		
・ 大船子育て支援センター		延 13,826 人		

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児家庭支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 育児・介護等の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭や高齢者等の介護を支え、心豊かに暮らせる状況の実現

【事業の内容】

(1) 育児家庭支援事業

- ・育児、高齢者等に対する軽易な介護等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ファミリーサポートセンターの運営(4-1-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,539	11,539	11,377		162
主な支出内訳				
・育児家庭支援事業				
ファミリーサポートセンター運営委託料				10,752
主な特定財源				
・国県支出金				9,529
ファミリーサポートセンター会員数と活動状況				
会員数				
育児	支援会員 506人	依頼会員 1,905人	両方会員 139人	
介護	支援会員 362人	依頼会員 91人	両方会員 11人	
活動状況				
育児	6,343件			
介護	764件			

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

子ども会館・子どもの家管理運営事業

【 こどもみらい課・青少年課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

青少年育成: 青少年が健全に成長・発達しているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を与え、心身の健やかな育成を図るほか、放課後等に家庭において保護者の適切な世話を受けられない児童に対して、家庭的な指導を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【事業の内容】

(1) 子ども会館・子どもの家管理運営事業

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、指導員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。
- ・第一小学校区の子ども会館・子どもの家を建設した。
- ・梶原子ども会館の運営を市民活動団体とともに行った。
- ・耐震性に課題のあったこしごえ子どもの家を腰越小学校内に移転した。
- ・腰越子ども会館・子どもの家耐震改修設計業務委託料については、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・旧北鎌倉美術館の修繕料については、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・腰越子ども会館・子どもの家移転事業消耗品費の一部及び備品購入費については、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子ども会館・子どもの家の整備(4-4-2-①)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
419,715	524,645	481,582	31,322	11,741
主な支出内訳				
・子ども会館・子どもの家管理運営事業				
こども育成専任指導員報酬 22人				62,394
こども育成指導員報酬 94人				95,531
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
夏期及び障害児対応臨時的任用職員賃金				10,834
子ども会館・子どもの家消耗品費				5,512
腰越子ども会館・子どもの家移転事業消耗品費(翌年度への繰越明許費)				359
子ども会館・子どもの家光熱水費				5,503
子ども会館・子どもの家修繕料				8,822
仮設おなり子どもの家整備修繕料				4,800
旧北鎌倉美術館修繕料(翌年度への繰越明許費)				0
第一小学校区子ども会館・子どもの家家屋調査(事後)業務委託料				181
第一小学校区子ども会館・子どもの家工事監理業務委託料				5,040
大船第二子ども会館耐震診断等業務委託料				1,227
山崎子ども会館・子どもの家増築棟基礎設計及び施工業務委託料				1,207
機械警備委託料				1,164

軽作業委託料	300
子どもの家利用料徴収システム保守委託料	157
防球ネット設置委託料	0
備品等廃棄物収集運搬処分等委託料	425
腰越子ども会館・子どもの家耐震改修設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0
子どもの家賃借料(第一小学校区分)	2,320
山崎子ども会館・子どもの家増設分リース料	44
第一小学校区子ども会館・子どもの家代替駐車場賃借料	7,500
鎌倉体育館駐車場改修工事請負費	32,063
第一小学校区子ども会館・子どもの家建設工事請負費	124,561
旧北鎌倉美術館取得費	95,000
子ども会館・子どもの家備品購入費	1,478
腰越子ども会館・子どもの家移転事業備品購入費(翌年度への繰越明許費)	0
梶原子ども会館協働運営事業負担金	2,300
だいいち子どもの家光熱水費負担金	436
第一小学校区子ども会館・子どもの家水道利用加入金	919

主な特定財源

・ 国県支出金	30,391
・ 地方債	121,200

子ども会館利用状況

(単位:人)

二階堂	第一	長谷	七里ガ浜	腰越	西鎌倉	梶原	深沢	富士塚	山崎	大船第一	大船第二	岩瀬	玉縄	植木	合計
6,889	7,498	10,523	6,000	1,647	1,193	7,085	7,634	4,789	1,891	15,011	3,034	5,614	7,998	6,631	93,437

※第一子ども会館は平成25年1月12日に開館。腰越子ども会館・深沢子ども会館は平成25年2月9日に閉館。

子どもの家利用状況(高学年児童を含む)

(単位:人)

にかいどう	だいいち	おなり	いなむらがさき	しちりがはま	こしこえ	にしかまくら	ふかさわ	ふじづか	やまさき	おおふな第一	おおふな第二	いわせ	たまなわ	うえき	せきや	合計
7,588	15,047	12,494	4,829	3,840	4,502	10,016	18,238	7,951	16,136	12,945	11,487	6,772	9,507	6,257	4,803	152,382

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎小児医療の経費

小児医療助成事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳～小学校6年生の入・通院した者と、中学生の入院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 小児医療助成事業

- ・食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【中事業に含まれる実施計画事業】

小児医療費の助成(4-1-4-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
487,660	463,943	457,581		6,362
主な支出内訳				
・小児医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				553
医療助成事務用消耗品費				103
受診証印刷製本費				0
診療報酬明細書印刷製本費				0
審査支払等手数料				11,583
医療扶助費				445,342
主な特定財源				
・国県支出金				
				67,204
助成件数	延237,289件	月平均対象者	14,316人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎児童手当の経費

児童手当支給事業

こども相談課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 平成21年度までの児童手当受給資格者でかつ現況届未提出者等のうち、受給権が時効により失効していない者

意図 児童を養育していた者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 児童手当支給事業

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育していた者に手当を支給するが、現況届未提出者等からの申請がなかったため、支給しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
340	340	0		340
主な支出内訳				
・児童手当支給事業				
児童手当				0

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎子どものための手当の経費

子どものための手当支給事業

こども相談課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある子ども(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 子どもを養育している者に子ども手当及び子どものための手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子どもの健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 子どものための手当支給事業(平成24年4月分から平成25年1月分)

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育していた者に手当を支給した。

児童手当支給額

3歳未満	15,000円 (一人あたり月額)
3歳以上小学校修了前第1子、2子	10,000円
3歳以上小学校修了前第3子以降	15,000円
中学校修了前	10,000円
特例給付	5,000円

- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。
- ・前年度からの繰越明許費により、児童手当支給のためのシステム改修を行った。

(2) 子ども手当支給事業(平成24年2月、3月分及び過年度分)

- ・子どもの健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、子どもを養育している者に手当を支給した。

子ども手当支給額

3歳未満	15,000円
3歳以上小学校修了前第1子、2子	10,000円
3歳以上小学校修了前第3子以降	15,000円
中学校修了前	10,000円
つなぎ法	13,000円

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,559,419	2,616,524	2,588,901		27,623
主な支出内訳				
・子どものための手当支給事業				
臨時的任用職員賃金				2,005
児童手当消耗品費				564
児童手当印刷製本費				193
児童手当郵便料				2,212
児童手当システム運用支援業務委託料等				4,198
児童手当システム改修委託料(前年度からの繰越明許費)				14,313
児童手当税データ連携委託				628
児童手当システム賃借料				1,768

児童手当					2,061,255
3歳未満	月額	15,000円	延	31,250人分	468,750
3歳以上小学校修了前第1子、2子	月額	10,000円	延	94,772人分	947,720
3歳以上小学校修了前第3子以降	月額	15,000円	延	9,245人分	138,675
中学校修了前	月額	10,000円	延	30,641人分	306,410
特例給付	月額	5,000円	延	39,940人分	199,700
・子ども手当支給事業					
子ども手当					501,765
3歳未満	月額	15,000円	延	7,485人分	112,275
3歳以上小学校修了前第1子、2子	月額	10,000円	延	26,346人分	263,460
3歳以上小学校修了前第3子以降	月額	15,000円	延	2,501人分	37,515
中学校修了前	月額	10,000円	延	8,715人分	87,150
つなぎ法	月額	13,000円	延	105人分	1,365
主な特定財源					
・国県支出金					2,246,387

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎入院助産等の経費

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 入院助産等事業

- ・ 経済的な理由により、出産が困難な家庭に出産の扶助を行った。
- ・ 母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子をともに生活支援施設に入所させて保護する事業については申請がなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
863	863	500		363
主な支出内訳				
・ 入院助産等事業				
助産施設入所費 1件				500
母子生活支援施設入所費				0
主な特定財源				
・ 国県支出金				429

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

私立保育所等入所事業

【 保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所等入所事業

- ・市内の私立保育所に入所している児童に係る運営扶助費を執行した。
- ・市外の公私立保育所に入所している児童に係る管外委託運営扶助費を執行した。
- ・市外の私立保育所に入所している児童に係る管外委託法外扶助費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園扶助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(扶助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,384,928	1,384,928	1,288,222		96,706
主な支出内訳				
・私立保育所等入所事業				
私立保育所運営扶助費 14園				1,236,664
管外委託運営扶助費				46,137
管外委託法外扶助費				5,421
主な特定財源				
・国県支出金				526,563

私立保育所運営扶助費

区分		運営扶助費	延児童数
保育園		(千円)	(人)
1	富士愛育園	111,261	1,573
2	聖アンナの園	109,833	1,715
3	岩瀬保育園	137,641	1,233
	岩瀬保育園分園		474
4	オレンジ	46,907	473
5	清心保育園	84,914	1,074
6	こばとナーサリー	75,820	912
7	大船ひまわり保育園	73,165	751
8	たんぽぽ共同保育園	84,928	869
9	梶原の森たんぽぽ保育園	90,654	925
10	山崎保育園	88,808	1,152
11	ピヨピヨ保育園	74,245	752
12	寺分保育園	91,051	1,318
13	アワーキッズ鎌倉(本園)	98,397	898
	アワーキッズ鎌倉(分園)		1,060
14	アワーキッズ大船	69,040	1,451
計		1,236,664	16,630

管外委託運営扶助費及び管外委託法外扶助費

区分		運営扶助費	法外扶助費	延児童数
保育園		(千円)	(千円)	(人)
管外公立保育所		7,184	0	130
管外民間保育所		38,953	5,421	518
計		46,137	5,421	648

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

私立保育所助成事業

【 こどもみらい課・保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所助成事業

- ・私立保育所の運営費に対する民間保育所運営費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育事業費補助金を交付した。
- ・開所時間11時間及び延長保育を実施するために要する経費に対し延長保育事業等補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所運営改善費補助金を交付した。
- ・一時預かり事業等に必要経費に対する一時預かり事業等補助金を交付した。
- ・休日保育事業に必要な経費に対する休日保育事業補助金を交付した。
- ・私立保育所の整備費等に対する安心こども交付金事業費補助金を交付した。
- ・前年度からの繰越明許費により、認定子ども園鎌倉みどり学園新設工事に対する安心こども交付金事業費補助金を交付した。
- ・大船ひまわり保育園分園設置に係る改修費に対する安心こども交付金事業費補助金については、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園運営補助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(運営補助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
530,472	695,378	676,089	7,500	11,789
主な支出内訳				
・私立保育所助成事業				
民間保育所運営費補助金				170,873
障害児保育事業費補助金				10,559
延長保育事業等補助金				96,242
民間保育所運営改善費補助金				214,559
一時預かり事業等補助金				5,516
休日保育事業補助金				1,171
安心こども交付金事業費補助金(認定こども園鎌倉みどり学園新設工事) (前年度からの繰越明許費)				163,689
安心こども交付金事業費補助金 (オレンジ分園改修費及び大船ひまわり保育園分園賃借料)				3,028
安心こども交付金事業費補助金(保育所児童虐待防止対策緊急強化事業)				7,437

安心こども交付金事業費補助金(山崎保育園多目的室設置工事)	3,015
安心こども交付金事業費補助金(大船ひまわり保育園分園改修費)	0
(翌年度への繰越明許費)	
主な特定財源	
・ 国県支出金	250,963

私立保育所助成事業

(単位:千円)

保育所 区分	富士	アナン	岩瀬	オレンジ	清心	こぼと	大船 ひまわり	たんぽぽ	梶原の森	山崎	ピヨピヨ	寺分	アークキッズ 鎌倉	アークキッズ 大船	市外	計
民間保育所運営費補助金																
(特別経費)	2,850	0	780	0	0	4,785	0	1,800	1,178	0	581	0	0	0	0	11,974
(基本分)	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	3,724	0	52,136
(利用者別基礎 加算)	8,429	8,029	9,515	5,846	7,234	4,871	4,819	5,456	7,429	5,838	4,866	6,250	12,225	12,827	1,029	104,663
(地域育児セン ター加算)	0	0	240	0	230	0	208	340	500	48	280	50	204	0	0	2,100
(級地格差是正 加算)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	15,003	11,753	14,259	9,570	11,188	13,380	8,751	11,320	12,831	9,610	9,451	10,024	16,153	16,551	1,029	170,873
障害児保育事業費補助金																
特別経費	0	0	0	222	0	0	0	0	296	0	888	0	0	888	0	2,294
通常経費	0	0	2,052	513	0	1,368	1,368	684	1,140	0	684	0	456	0	0	8,265
小計	0	0	2,052	735	0	1,368	1,368	684	1,436	0	1,572	0	456	888	0	10,559
延長保育事業等補助金																
(開所時間延長 促進事業費)	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	0	63,266
(延長保育事業 費)	2,333	2,582	2,666	2,333	2,166	2,333	2,000	2,000	2,000	2,526	2,000	2,333	2,333	2,333	0	31,938
(減免分)	13	109	176	23	96	20	23	0	60	56	148	95	108	111	0	1,038
小計	6,865	7,210	7,361	6,875	6,781	6,872	6,542	6,519	6,579	7,101	6,667	6,947	6,960	6,963	0	96,242
民間保育所運営改善費補助金																
(職員加算)	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,568	4,720	0	65,928
(経営改善費)	8,004	7,711	10,394	4,104	7,010	6,691	6,946	7,034	7,432	7,495	6,800	8,052	10,054	6,769	0	104,496
(処遇改善費)	2,988	3,314	3,285	901	2,063	1,778	1,431	1,651	1,758	2,212	1,474	2,527	3,975	2,989	0	32,346
(健康管理費)	208	208	208	208	208	208	208	208	208	208	208	208	69	68	0	2,633
(災害共済負担 費)	50	56	47	26	36	30	24	28	29	37	25	38	67	66	0	559
(分園運営支援 費)	0	0	2,678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,919	0	0	8,597
小計	15,970	16,009	21,332	9,959	14,037	13,427	13,329	13,641	14,147	14,672	13,227	15,545	24,652	14,612	0	214,559
一時預かり事業等補助金																
(特定保育)	0	0	0	0	86	248	0	419	0	1,804	0	0	0	0	0	2,557
(一時預かり)	0	0	0	0	128	1,561	0	651	0	619	0	0	0	0	0	2,959
小計	0	0	0	0	214	1,809	0	1,070	0	2,423	0	0	0	0	0	5,516
休日保育事業補助金事業補助金																
休日保育事業 補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,171	0	0	0	0	0	1,171
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,171	0	0	0	0	0	1,171
保育所児童虐待防止対策緊急強化事業																
保育所児童 虐待防止対策	0	917	1,264	0	0	133	579	823	782	625	844	743	542	185	0	7,437
小計	0	917	1,264	0	0	133	579	823	782	625	844	743	542	185	0	7,437
合計	37,838	35,889	46,268	27,139	32,220	36,989	30,569	34,057	35,775	35,602	31,761	33,259	48,763	39,199	1,029	506,357

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

認可外保育施設助成事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している認可外保育施設に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 認可外保育施設における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 認可外保育施設助成事業

- ・ 認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費を助成した。
- ・ 認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,637	34,053	29,368		4,685
主な支出内訳				
・ 認可外保育施設助成事業				
認定保育施設運営改善費補助金				28,655
届出保育施設運営改善費補助金				713
主な特定財源				
・ 国県支出金				7,176

認可外保育施設助成事業

(単位:千円)

区分	保育所	保育室 みつばち	保育室 アーモ玉縄	保育所 のぞみ	まんまる 保育室	ひまわり会	どんぐり	市外認定 保育施設	計
認定保育施設児童処遇助成等補助金									
(児童処遇助成費)		8,495	5,566	4,619	0	0	0	844	19,524
(児童処遇助成費加算(兄弟入所))		120	0	0	0	0	0	0	120
(児童処遇助成費加算(母子父子))		40	0	15	0	0	0	0	55
(特別保育費)		228	684	209	0	0	0	0	1,121
(従事者研修費)		0	0	0	0	0	0	0	0
(待機児童)		3,470	2,260	2,105	0	0	0	0	7,835
(認定化促進事業)		0	0	0	0	0	0	0	0
小計		12,353	8,510	6,948	0	0	0	844	28,655
届出保育施設運営改善費補助金									
(児童健康管理費)		224	0	160	64	0	0	0	448
(従事者健康管理費)		87	55	52	26	0	0	0	220
(施設賠償責任保険)		15	0	15	15	0	0	0	45
小計		326	55	227	105	0	0	0	713
合計		12,679	8,565	7,175	105	0	0	844	29,368

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎母子等福祉の経費

母子生活支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子家庭等(ひとり親家庭)

意図 母子家庭等(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 母子家庭等(ひとり親家庭)の安定した生活の維持

【事業の内容】

(1) 母子生活支援事業

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援として母子家庭自立支援教育訓練給付金、母子家庭高等技能訓練促進費、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けを行った。
- ・遺児が中学校を卒業するにあたり卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

母子家庭の自立支援(4-1-4-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357,598	357,605	347,528		10,077
主な支出内訳				
・母子生活支援事業				
母子自立支援員報酬 2人				5,400
児童扶養手当認定医報酬 2人				30
遺児卒業祝金 贈呈件数11件				330
ひとり親家庭等児童大学進学支度金 交付件数31件				1,860
児童扶養手当消耗品費				35
ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料				14
鎌倉市母子寡婦福祉会補助金				40
母子家庭自立支援教育訓練給付金補助金				0
母子家庭等家賃助成 助成世帯 312世帯				25,008
児童扶養手当 受給者数 726人				306,559
母子家庭高等技能訓練促進費 5件				7,886
母子等福祉基金貸付金				0
社会福祉基金積立金				36
主な特定財源				
・国県支出金				111,653

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎ひとり親家庭等医療の経費

ひとり親家庭等医療助成事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子又は父子家庭等のこどもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【事業の内容】

(1) ひとり親家庭等医療助成事業

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前のこどもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。一定の所得制限を設けている。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,960	78,960	67,623		11,337
主な支出内訳				
・ひとり親家庭等医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				46
医療助成事務等消耗品費				14
受診証印刷製本費				0
診療報酬明細書印刷製本費				0
審査支払手数料				1,302
医療扶助費				66,261
主な特定財源				
・国県支出金				
				28,596
助成件数	延 23,831件	月平均対象者	1,792人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎保育所の経費

公立保育所管理運営事業

【 こどもみらい課・保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 公立保育所運営事業

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・病後児保育事業に係る経費を執行した。
- ・家庭的保育事業に係る経費を執行した。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

(2) 公立保育所管理事業

- ・公立保育所の維持管理に係る経費の効率的な執行を図った。
- ・腰越保育園の耐震工事を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

低年齢児保育の充実(4-1-4-⑨)

一時預かりの拡充(4-1-4-⑫)

病後児施設型保育の実施(4-1-4-⑮)

公立保育園の民営化計画(4-1-4-⑲)

家庭的保育事業の実施(4-1-4-25)

公共建築物の耐震化(0-II-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
402,571	390,049	367,002		23,047
主な支出内訳				
・公立保育所運営事業				
保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人				2,516
保育等嘱託員報酬 22人				18,966
産休・育休代替等臨時的任用職員賃金				121,089
非常勤嘱託員等費用弁償				995
保育用消耗品費				5,816
給食賄材料費				51,278
検便・ぎょう虫・検体検査手数料				682
保育士派遣業務委託料				2,557
給食調理業務委託料				52,626
第三者評価事業委託料				458
病後児保育委託料				13,970
家庭的保育委託料				1,912
家庭的保育補助者等補助金				1,272

・ 公立保育所管理事業				
腰越保育園耐震関係消耗品費				48
光熱水費				19,674
修繕料				9,904
消防用設備保守点検等手数料				1,890
清掃・用務・軽作業委託料				13,959
警備等委託料				4,139
腰越保育園耐震工事監理業務委託料				1,381
腰越保育園耐震工事請負費				34,125
保育用器具等備品購入費				3,811
腰越保育園耐震関係備品購入費				1,258
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,658
年間入所延人数				
材木座保育園	1,282人	深沢保育園	1,319人	
稲瀬川保育園	1,185人	大船保育園	975人	
腰越保育園	1,188人	岡本保育園	1,219人	
		合計	7,168人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎保育所の経費

分園運営事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所の施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 分園運営事業

- ・玉縄地域の待機児童解消対策の暫定的な措置として、私立保育所の分園形式による保育園に係る経費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(施設運営)(4-1-4-⑰)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,488	9,488	9,468		20
主な支出内訳				
・分園運営事業				
土地賃借料				1,908
園舎リース料				7,560

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎あおぞら園の経費

あおぞら園管理運営事業

【 こどもみらい課・発達支援室 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

【事業の内容】

(1) あおぞら園運営事業

・発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的生活習慣や社会性の発達を援助した。

(2) あおぞら園管理事業

・あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,256	55,256	50,088		5,168
主な支出内訳				
・あおぞら園運営事業				
嘱託医報酬				
精神科医師	1人			791
小児科医師	1人			142
眼科医師	1人			69
耳鼻科医師	1人			69
栄養・給食等嘱託員報酬				
栄養・給食担当	1人			1,728
給食担当	2人			1,541
事務補助嘱託員報酬	2人			2,056
臨時的任用職員賃金				4,965
給食賄材料費				4,453
普通傷害保険料				405
保育士派遣委託料				4,121
県社会福祉協議会会費負担金				25
市社会福祉協議会会費負担金				3
・あおぞら園管理事業				
光熱水費				2,493
修繕料				7,270
自家用電気工作物保安管理等手数料				393
総合施設管理業務委託料				5,462
警備委託料				115
通園バス運行委託料				11,202
ゴキブリ防除委託料				49

利用状況

- ・児童発達支援センターあおぞら園

開園日数:228日 年間利用児数:36人(延5,990人)

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

生活保護事務

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 生活保護事務

- ・病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,185	6,185	5,536		649
主な支出内訳				
・生活保護事務				
嘱託医報酬(一般・精神科) 2人				1,606
就労支援員報酬 1人				950
一般診療等審査手数料				1,027
レセプト点検事業委託料				416
保護費封入委託料				865
住宅片付事業委託料				0
生活保護等版レセプト管理システム保守委託料				213
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				1,749

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費	76,129
・ 給料 一般職	35,355
一般職職員 11人	
・ 職員手当等	29,533
扶養手当	602
地域手当	4,682
通勤手当	1,109
超過勤務手当	6,023
特殊勤務手当	385
期末勤勉手当	13,630
住居手当	2,982
子ども手当	20
児童手当	100
・ 共済費	11,241
市町村職員共済組合負担金	

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 10扶助費

◎生活保護扶助の経費

扶助事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 扶助事業

- ・病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

保護率の状況(平成25年3月31日現在)

区 分	総 人 口	保護人員	保 護 率
鎌 倉 市	173,660人	832人	0.47%
神奈川県	9,083,643人	155,377人	1.71%

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,616,373	1,819,524	1,695,500		124,024
主な支出内訳				
・ 扶助事業				
生活扶助費	延 9,073	人		533,754
医療扶助費	延 7,503	人		789,815
教育扶助費	延 385	人		3,887
住宅扶助費	延 8,484	世帯		304,198
生業扶助費	延 146	人		2,598
出産扶助費	延 0	人		0
葬祭扶助費	延 15	人		3,016
施設事務費	延 77	人		11,211
介護扶助費	延 1,617	人		47,021
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,396,128

(款) 15民生費 (項) 20災害救助費 (目) 5災害救助費

◎災害救助の経費

救助事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【事業の内容】

(1) 救助事業

- ・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。
- ・異常な自然現象により被害を受けた方に対して、生活の立て直しに資するための災害援護資金の貸付けについては、対象者がいなかった。
- ・東日本大震災により鎌倉市に避難してきた被災者及び自主避難者に対して、生活支援金等を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,383	50,056	40,114		9,942
主な支出内訳				
・救助事業				
風水害避難所開設用消耗品費				4
小災害見舞金				10
小災害弔慰金				0
住宅家賃等扶助費				15,201
生活支援金				24,899
災害援護資金貸付金				0

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

保健衛生運営事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生水準の向上

【事業の内容】

(1) 保健衛生運営事業

- ・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。
- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・財政支援をすることから、鎌倉市医師会立産科診療所の運営内容について透明性を確保するため、市民、学識経験者を交えた運営協議会を開催した。

(2) 献血事業

- ・日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。あわせてホームページや広報かまぐらの活用、市内事業所や町内会、ライオンズクラブ等との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。

(3) 地域自殺対策事業

- ・命の大切さ、自分や周りの人の命に関する意識の高揚を図った。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識の周知啓発を図った。
- ・自殺につながる様々な問題の相談窓口の周知を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ハッピーバース支援(産科診療所の運営支援) (4-1-2-⑱)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,980	81,130	78,921		2,209
主な支出内訳				
・保健衛生運営事業				
産科診療所運営協議会委員報償				104
救急医療・健診等保険料				906
はじめまして赤ちゃん事業委託料				240
地域医療センター維持管理費負担金				2,829
県ドクターヘリ運営事業運営費負担金				507
医師会運営費補助金				3,366
歯科医師会運営費補助金				1,824
衛生協議会運営費補助金				2,985
薬剤師会運営費補助金				104
助産師会等運営費補助金				204
産科医師等分娩手当補助金				1,033
産科診療所運営費補助金				64,304

・ 献血事業	
献血協力者謝礼	126
・ 地域自殺対策事業	
講演会講師等謝礼	150
啓発用消耗品費	30
主な特定財源	
・ 国県支出金	1,213

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部市民健康課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		215,666
・ 給料	一般職	105,429
	一般職職員 32人	
・ 職員手当等		74,002
	扶養手当	1,848
	地域手当	14,097
	通勤手当	2,602
	超過勤務手当	7,137
	管理職手当	971
	特殊勤務手当	50
	期末勤勉手当	41,271
	住居手当	4,776
	管理職員特別勤務手当	0
	子ども手当	210
	児童手当	1,040
・ 共済費		36,235
	市町村職員共済組合負担金	36,061
	雇用保険料	174

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎救急医療対策の経費

救急医療対策事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病への迅速な対応

【事業の内容】

- (1) 休日夜間急患診療所事業
 - ・ 休日、夜間に地域医療センターで内科系の疾患に対し急患診療を行った。
- (2) 二次救急医療確保対策事業
 - ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- (3) 救急医療情報提供事業
 - ・ 市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。
毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- (4) 休日急患歯科診療所事業
 - ・ 休日昼間にレイ・ウェル鎌倉で歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

休日急患歯科診療所の運営(4-1-3-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,454	145,454	144,186		1,268
主な支出内訳				
・ 休日夜間急患診療所事業				
休日夜間急患診療所業務委託料 (休日72日、夜間365日、応需件数1,487件)				43,346
・ 二次救急医療確保対策事業				
病院群輪番制業務委託料 (7医療機関、内科・外科、応需件数4,020件)				82,262
単独医療機関制業務委託料 (内科・外科、応需件数8,886件)				9,853
・ 救急医療情報提供事業				
救急電話音声自動対応業務委託料				252
・ 休日急患歯科診療所事業				
休日急患歯科診療所業務委託料 (休日(年末年始含む)、応需件数340件)				6,575
休日急患歯科診療所管理等委託料				796
主な特定財源				
・ 国県支出金				4,946

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎予防接種の経費

予防接種事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【事業の内容】

(1) 予防接種事業

- ・ 集団接種(ポリオ)、個別接種(BCG、MR、麻しん、風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎、不活化ポリオ、四種混合、インフルエンザ)の定期予防接種を実施した。
- ・ 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の任意予防接種を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

任意の予防接種の充実(4-1-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
397,968	423,277	398,942		24,335
主な支出内訳				
・ 予防接種事業				
予防接種健康被害調査委員会報酬				0
ポリオ集団接種受付事務等賃金				241
子宮頸がん等ワクチン接種臨時的任用事務職員賃金				1,531
予防接種データ整理臨時職員賃金				1,089
予防接種ワクチン医薬材料費				95,487
子宮頸がん等ワクチン医薬材料費				82,598
予防接種事故賠償補償保険料				339
予防接種等委託料				165,292
ポリオ医師派遣委託料				916
予防接種データ入力委託料				358
健康管理システム改修委託料				947
子宮頸がん等ワクチン接種委託料				46,363
子宮頸がん等ワクチン接種データ入力委託料				194
予防接種費用自己負担金補助金				998
子宮頸がん等ワクチン接種費用自己負担金補助金				1,369
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				58,166

予防接種ごとの接種人数

予防接種ごとの接種人数	接種人数(延)
DPT三種混合	4,259人
DT二種混合	1,249人
四種混合	797人
ポリオ(不活化)	3,547人
ポリオ(生)	594人
日本脳炎	6,543人
MR混合(麻しん風しん)	4,789人
麻しん単抗原	2人
風しん単抗原	20人
BCG	1,150人
インフルエンザ	21,189人
子宮頸がんワクチン	1,537人
ヒブワクチン	5,033人
小児用肺炎球菌ワクチン	5,004人
合 計	55,713人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎感染症対策の経費

感染症対策事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 感染症対策事業

- ・感染症等が発生した場合、県知事の指示により、汚染された場所の消毒等を行うが、本年度は発生しなかった。
- ・感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、冊子等により啓発に努めた。
- ・新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延防止と医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,040	4,040	232		3,808
主な支出内訳				
・ 感染症対策事業				
感染症対策啓発パンフレット等消耗品費				88
発熱外来光熱水費				144
感染症対策事業用医薬材料費				0
発熱外来委託料				0

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

成人保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進のための啓発を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 成人保健事業

- ・市民の健康の増進を図るため健康手帳の交付や健康教育、健康相談等を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,240	3,240	3,089		151
主な支出内訳				
・成人保健事業				
非常勤嘱託栄養士報酬 2人				2,506
健康教育講師謝礼				40
健康手帳・文具等消耗品費				299
骨密度測定業務委託料				0
主な特定財源				
・国県支出金				343

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

母子保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康の増進のため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【事業の内容】

(1) 母子保健事業

- ・母子健康手帳、すくすく手帳の交付を行った。
- ・妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行った。
- ・家庭訪問(新生児育児支援等)、乳幼児健診、母親教室、育児講座、健康相談等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

妊産婦への健診支援(4-1-3-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
125,135	126,558	121,109		5,449
主な支出内訳				
・母子保健事業				
母子保健指導嘱託員報酬 29人				7,842
母親教室・育児講座講師等謝礼				276
妊産婦・新生児等訪問指導謝礼				3,671
母子健康手帳等消耗品費				930
すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費				813
妊産婦健診等委託料				72,840
乳児健診(4か月児、お誕生前)委託料				16,884
幼児健診等委託料				10,996
指定医療機関外の妊産婦健診・乳児健診補助金				4,216
主な特定財源				
・国県支出金				25,269

妊産婦健康診査

区 分	受診者数		区 分	受診者数	
	指定医療機関			指定医療機関	
	指定医療機関外			指定医療機関外	
1回目	1,246人		9回目	1,065人	
	11人			94人	
2回目	1,234人		10回目	1,001人	
	15人			114人	
3回目	1,200人		11回目	935人	
	19人			130人	
4回目	1,208人		12回目	830人	
	17人			117人	
5回目	1,191人		13回目	638人	
	30人			98人	
6回目	1,183人		14回目	446人	
	47人			68人	
7回目	1,160人		15回目	881人	
	55人			181人	
8回目	1,116人		合計	15,334人	
	70人			1,066人	

乳児健康診査

区 分	受診者数
4か月児健康診査	1,158人
お誕生前健康診査	1,098人
計	2,256人

幼児健康診査

区 分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1,188人
2歳児歯科健康診査	988人
3歳児健康診査	1,228人
計	3,404人

乳幼児精密健康診査

区 分	受診者数
乳幼児精密健康診査	30人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

老人保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者(機能訓練については、40歳以上)

意図 高齢者の介護予防や健康の増進を図るため。

効果 健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

【事業の内容】

(1) 老人保健事業

- ・健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(生活習慣改善、栄養、健康づくりなど)を実施した。
- ・脳血管疾患後遺症・関節疾患等の方(40歳以上)の社会参加・機能維持を目指し、機能訓練(日常生活や基本動作の訓練等)を実施した。
- ・75歳以上の後期高齢者健診事業を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
107,008	104,601	101,795		2,806

主な支出内訳

・老人保健事業

非常勤嘱託保健師報酬 6人	5,338
機能訓練嘱託員報酬 5人	2,836
健康講座講師等謝礼	119
機能訓練教室送迎車運行委託料	2,581
訪問歯科検診委託料	25
後期高齢者健診委託料 9,037人 (生保受給者健診81人含む)	90,592

主な特定財源

・国県支出金	813
--------	-----

後期高齢者健診(早期移行者を含む)

区分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	8,956人	1,832人	4,721人	1,485人	918人

生保受給者健診(40歳以上)

区分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	81人	10人	49人	16人	6人

機能訓練教室

実施回数	参加者数	延参加者
延170回	44人	692人

機能訓練教室送迎車運行

実施回数	乗車実人数	延乗車人数
延82回	10人	278人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

結核検診事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 結核の早期発見・治療のため。

効果 結核を予防し、まん延を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 結核検診事業

・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,206	3,206	2,092		1,114

主な支出内訳

・結核検診事業

結核検診委託料 369人

2,092

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

成人健康診査事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) 成人健康診査事業

- ・若年期からの生活習慣病予防のため20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・40,45,50,55,60歳の方に無料で肝炎検診を実施した(無料クーポン券検診)。
- ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・20～36歳の方に4歳刻みで、40～70歳の方に10歳刻みで歯周疾患検診を実施した(問診、口腔内検査)。

【中事業に含まれる実施計画事業】

20歳からの成人健診事業の推進(4-1-3-⑥)

歯周疾患検診の推進(4-1-3-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,204	20,204	14,269		5,935
主な支出内訳				
・成人健康診査事業				
キット健診等委託料 502人				1,231
無料クーポン券検診委託料(肝炎検診) 1,873人				11,154
肝炎検診委託料 28人				136
歯周疾患検診委託料 347人				1,690
主な特定財源				
・国県支出金				5,751

キット健診(20～38歳)※国保加入者を含む。

区分	受診者数	異常なし	要観察	要医療
血液検査	745人	342人	313人	90人

肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルス の可能性が高い
C型	28人	28人		0人
B型	27人	27人	0人	

歯周疾患検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区分	受診者数	異常なし	要指導	要医療
口腔内診査	369人	33人	13人	323人

無料クーポン券 肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルス の可能性が高い
C型	1,872人	1,868人		4人
B型	1,873人	1,865人	8人	

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

がん検診事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) がん検診事業

- ・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がん(個別検診:40歳以上10年ごと、集団検診:40歳以上で胃がんの個別検診に該当しない方)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。
- ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20,25,30,35,40歳の女性)、乳がん(40,45,50,55,60歳の女性)、大腸がん(40,45,50,55,60歳)の検診を無料で実施した(無料クーポン券検診)。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
382,313	365,163	334,127		31,036
主な支出内訳				
・がん検診事業				
臨時的任用職員賃金				1,780
集団検診事務一括業務委託料				7,943
がん精密検査追跡業務委託料				642
健診結果データ集約等業務委託料				5,108
大腸がん検診委託料 18,350人				61,253
肺がん検診委託料 21,114人				121,872
胃がん個別検診委託料 1,121人				19,977
胃がん集団検診委託料 4,841人				18,468
子宮頸がん検診委託料 4,730人				39,318
乳がん検診委託料 4,554人				23,249
乳がん集団検診委託料 158人				979
無料クーポン券検診発送業務委託料				3,901
無料クーポン券検診結果データ集約等業務委託料				505
無料クーポン券検診委託料(子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診) 4,265人				27,439
主な特定財源				
・国県支出金				18,230

大腸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査	18,350人	1,424人	24人

肺がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影	21,114人	278人	13人

胃がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
節目年齢 (胃部X線直接撮影)	1,121人	221人	3人
集団 (胃部X線間接撮影)	4,841人	521人	8人
計	5,962人	742人	11人

子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診	4,730人	27人	1人

乳がん個別検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
視触診のみ	626人	56人	0人
乳房X線撮影 +視触診	3,928人	287人	7人
計	4,554人	343人	7人

乳がん集団検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 +視触診	158人	18人	0人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診	1,094人	13人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 +視触診	1,308人	114人	2人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 ＋視触診	124人	12人	0人

無料クーポン券 大腸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査	1,739人	89人	2人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

健康情報システム構築・運用事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【事業の内容】

(1) 健康情報システム構築・運用事業

- ・ 受診券発送から総合判定結果までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

健康情報システムの構築と運用(4-1-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,556	25,556	23,702		1,854

主な支出内訳

・ 健康情報システム構築・運用事業

健康診査データ管理等委託料

8,127

受診券作成等委託料

14,383

同封物作成業務委託料

1,192

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

地域健康づくり事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 健康づくりへの関心を高めるとともに、地域の人材を発掘して健康づくりの地域活動を支援するため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成をはかり、個人及び地域が健康づくりを継続できる環境をつくる。

【事業の内容】

(1) 地域健康づくり事業

- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。
- ・健康的な地域社会を構築していくために、自らの健康を推進し、かつ地域の住民の健康づくりを担っていく人材を育成することも念頭において事業を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

若年層の地域健康づくり支援(4-1-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
415	415	186		229
主な支出内訳				
・地域健康づくり事業				
地域健康づくり実践活動協力者謝礼				23
生活習慣改善プログラム委託料				163

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

食育事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 食育事業

- ・食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携を図りながら地域での食育を推進した。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が交流する場を提供し、全市的な食育の推進に努めた。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,312	1,312	925		387
主な支出内訳				
・食育事業				
鎌倉市食育推進会議委員報酬 7人				200
かまくら食育クラブ協力者等謝礼				256
かまくら食育カレッジ講師等謝礼				220
地域食育推進事業委託料				76

◎清掃一般の経費

清掃一般運営事業

【 環境政策課・資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

- (1) 一般廃棄物処理施設建設基金積立金
 - ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を運用した。
- (2) 清掃運営事務
 - ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。
- (3) 清掃一般運営事業
 - ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、鎌倉市ごみ焼却施設基本構想(案)に関する審議を行った。
 - ・廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についての調査、審議を行った。
 - ・廃棄物減量化等推進員を対象とした会合の開催や廃棄物関係施設見学会を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,398	5,430	4,970		460
主な支出内訳				
・一般廃棄物処理施設建設基金積立金				
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金				189
一般廃棄物処理施設建設基金寄附金				0
・清掃運営事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				47
文具類等消耗品費				202
全国都市清掃会議負担金				116
日本環境衛生センター負担金				50
神奈川県都市清掃行政協議会負担金				10
・清掃一般運営事業				
生活環境整備審議会委員報酬 7人				124
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 8人				452
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
廃棄物減量化等推進員謝礼				1,504
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償				17
事務補助嘱託員費用弁償				66
一般廃棄物処理手数料等賦課徴収用印刷物印刷製本費				71

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 5清掃総務費

◎清掃一般の経費

職員給与費

【 職員課 】

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量・資源化推進担当・資源循環課・環境施設課・環境センター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		1,324,030
・ 給料	一般職	613,937
	一般職職員	148人
	再任用(短時間)	6人
・ 職員手当等		507,982
	扶養手当	24,491
	地域手当	84,329
	通勤手当	16,925
	超過勤務手当	44,083
	休日給	33,452
	管理職手当	8,536
	特殊勤務手当	18,881
	期末勤勉手当	243,188
	住居手当	25,129
	管理職員特別勤務手当	28
	子ども手当	1,640
	児童手当	7,300
・ 共済費		202,111
	市町村職員共済組合負担金	200,734
	雇用保険料	1,377

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

名越クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター管理運営事業

・ 名越クリーンセンターの光熱水費、警備委託等の管理運営に係る事務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

名越クリーンセンターの延命化(3-3-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,302	124,622	117,475		7,147
主な支出内訳				
・ 名越クリーンセンター管理運営事業				
電気料				78,116
水道料				33,730
警備業務委託料				450
窓ガラス等清掃業務委託料				220
名越クリーンセンター用地賃借料				2,999
汚染負荷量賦課金				1,260

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター管理運営事業

・今泉クリーンセンターの光熱水費、警備委託等の管理運営に係る事務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,972	31,463	30,701		762

主な支出内訳

・今泉クリーンセンター管理運営事業

電気料	20,262
水道料	8,787
警備業務委託料	450
窓ガラス等清掃業務委託料	181
汚染負荷量賦課金	549

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

名越クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター収集事業

- ・鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,771	19,540	16,903		2,637

主な支出内訳

・名越クリーンセンター収集事業

収集作業用消耗品費	1,217
収集車両燃料費	6,321
収集車両修繕料	7,579
じん芥収集車購入費(軽ダンプ車 1台)	1,664

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター収集事業

- ・大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,920	9,391	8,387		1,004

主な支出内訳

・今泉クリーンセンター収集事業

収集作業用等消耗品費	851
収集車両燃料費	2,742
収集車両修繕料	4,627
じん芥収集車購入費(パッカー車 1台)	0

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

収集運営事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 収集運営事業

- ・資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・戸別収集の実施に向けてモデル地区における検証を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ペットボトル・容器包装プラスチックの資源化(3-3-2-②)

家庭系ごみの戸別収集・有料化(3-3-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
425,310	418,875	417,527		1,348
主な支出内訳				
・収集運営事業				
戸別収集モデル地区調査嘱託員報酬 2人				1,714
事務補助嘱託員報酬 4人				4,113
戸別収集モデル地区調査嘱託員費用弁償				148
事務補助嘱託員費用弁償				260
戸別収集全市実施準備消耗品費				2,267
説明会資料等作成委託料				584
戸別収集民間委託料				31,017
収集車両塗装委託料				1,580
コールセンター派遣委託料				703
指定袋作成委託料				77
看板作成委託料				191
容器包装プラスチック収集運搬委託料				68,051
資源物(カン・ビン)収集及びコンテナ配布業務委託料				122,048
一般廃棄物収集運搬業務委託料				181,812
戸別収集実施前後における燃やすごみ組成調査業務委託料				2,258
深沢クリーンセンター行政ネットワークシステム追加作業委託料				614
深沢クリーンセンターへの物品移転業務委託料				52
主な特定財源				
・国県支出金				1,862

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

最終処分事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 焼却残さ溶融固化事業

・焼却残さ全量を溶融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を推進した。

(2) 最終処分場維持管理事業

・最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

・最終処分場の廃止に向けた農地の復元工事については、神奈川県との協議に留り、実施には至らなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

焼却残さの最終処分(3-3-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
402,614	254,700	244,337		10,363
主な支出内訳				
・焼却残さ溶融固化事業				
焼却残さ溶融固化処理業務委託料				211,680
焼却残さ溶出・含有量検定業務委託料				214
鹿嶋市環境保全協力金				633
・最終処分場維持管理事業				
最終処分場集水設備等維持修繕料				150
最終処分場定期水質検査業務手数料				200
最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料				502
最終処分場保有水等搬出処理業務委託料				442
最終処分場観測井戸水運搬業務委託料				201
最終処分場農地復元工事(6号地)				0
最終処分場用地等営農損失補償金				30,029

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

処理施設整備事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【事業の内容】

(1) ダイオキシン類削減対策施設整備事業

- ・名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。
- ・今泉クリーンセンター事務所の賃借料を支出した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

クリーンセンター周辺環境調査(3-3-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,031	13,640	13,639		1
主な支出内訳				
・ダイオキシン類削減対策施設整備事業				
名越・今泉クリーンセンター周辺環境調査業務委託料				3,958
今泉クリーンセンター事務所賃借料				9,681

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

ごみ処理広域化計画推進事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【事業の内容】

(1) ごみ処理広域化計画推進事業

- ・新焼却施設の整備検討業務を委託し、鎌倉市ごみ焼却施設基本構想(案)の策定に取り組んだ。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみ処理広域化計画の推進(3-3-3-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,523	2,069	2,069		0
主な支出内訳				
・ごみ処理広域化計画推進事業				
焼却施設整備検討委託料				2,069

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

名越クリーンセンター処理事業

【 環境施設課・環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・ 名越クリーンセンター基幹的設備改良工事及び同工事監理委託の契約を締結した。また、工事に伴う継続費年割額は工事未着工のため全額平成25年度へ繰越した。
- ・ 名越クリーンセンター基幹的設備改良工事着工準備のため、がけ地等整備工事を実施し、仮設トラックスケール設置工事を発注したが、文化財調査が必要となったため工事請負額26,250千円を平成25年度へ事故繰越した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

名越クリーンセンターの延命化(3-3-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
477,212	461,402	263,820	78,250	119,332
主な支出内訳				
・ 名越クリーンセンター処理事業				
薬剤等消耗品費				35,867
施設燃料費				4,429
施設維持修繕料				111,816
電気工作物定期点検手数料				773
ごみ質検査手数料				482
作業環境調査業務委託料				357
クレーン年次点検業務委託料				810
環境調査業務委託料				2,153
焼却施設運転管理業務委託料				81,458
精密機能検査業務委託料				1,367
洗車排水汚水槽清掃業務等委託料				973
プラントメーカー選定等支援業務委託料				2,562
文化財発掘調査委託料				487
工事監理委託料(継続事業・24年度分)				0
事務所移設委託料				0
粗大ごみ等計量用トラックスケール賃借料				2,639
仮設事務所賃借料				0
基幹的設備改良工事(継続事業・24年度分)				0
がけ地等整備工事				15,972
事務所解体等工事				0

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

今泉クリーンセンター処理事業

【 環境施設課・環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・ 施設の耐震補強を行うため、プラットホーム改修工事を行った。
- ・ 事業系ごみの分別・資源化を図るための施設整備等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

事業系ごみの分別・資源化(3-3-2-⑦)

今泉クリーンセンターの耐震補強工事(3-3-3-⑪)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
220,676	213,183	207,836		5,347
主な支出内訳				
・ 今泉クリーンセンター処理事業				
計量機嘱託員報酬 3人				1,671
計量機嘱託員費用弁償				203
薬剤等消耗品費				25,188
施設燃料費				2,632
施設維持修繕料				78,153
電気工作物定期点検手数料				309
ごみ質検査手数料				482
作業環境調査業務委託料				357
環境調査業務委託料				2,310
精密機能検査業務委託料				923
焼却施設運転管理業務委託料				67,032
脱臭設備保守業務委託料				2,730
クレーン年次点検業務委託料				767
排水処理施設各槽清掃業務等委託料				915
独楽基礎設置等業務委託				1,638
プラットホーム改修工事監理委託料				0
トラックスケール賃借料				2,295
プラットホーム改修工事				11,671

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

笛田リサイクルセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【事業の内容】

(1) 笛田リサイクルセンター運営事業

- ・ 笛田リサイクルセンターの運営管理を行った。
- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施した。

(2) 笛田リサイクルセンター維持管理事業

- ・ 笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
140,564	136,727	135,494		1,233
主な支出内訳				
・ 笛田リサイクルセンター運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				65
再生利用施設用消耗品費				160
再生利用施設啓発事業委託料				3,600
運転・保守管理等業務委託料				22,176
資源物選別処理等業務委託料				50,400
自動ドア保守点検等委託料				272
・ 笛田リサイクルセンター維持管理事業				
資源物収集コンテナ等消耗品費				3,401
電気料				6,949
水道料				1,678
都市ガス料				4,787
施設内設備維持修繕料				21,293
消防設備定期点検手数料				176
警備業務委託料				450
清掃業務委託料				1,748
空気調和設備保守点検委託料				1,974
選別設備保守点検委託料				3,990
自動倉庫保守点検委託料				831
脱臭集塵設備保守点検委託料				1,817
植栽管理業務委託料				1,642
精密機能検査業務委託料				1,343
屋上植栽管理業務等委託料				1,285

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

分別運営事業

【 資源循環課・環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 分別運営事業

- ・資源物やごみを品目別に分別し、資源化を図った。
- ・クリーンステーションのごみ散乱やカラス被害を防止するため、ごみ散乱防止ネットを貸し出した。
- ・今泉クリーンセンターにピット前検査機を設置し、排出事業者や収集運搬事業者への啓発、指導を行った。

(2) 分別設備運営事業

- ・燃えないごみ及び危険・有害ごみの資源化のために、トラックスケールの賃借等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙類等の資源化(3-3-2-①)

ペットボトル・容器包装プラスチックの資源化(3-3-2-②)

事業系ごみの分別・資源化(3-3-2-⑦)

資源化品目の拡大(3-3-2-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
438,381	457,836	446,050		11,786
主な支出内訳				
・分別運営事業				
搬入物検査及び指導嘱託員報酬 2人				697
搬入物検査及び指導嘱託員費用弁償				131
ごみ散乱防止ネット等消耗品費				612
ペットボトル中間処理業務委託料				27,986
容器包装プラスチック中間処理業務委託料				95,713
布団・畳処理委託料				6,845
紙類等資源物処理業務委託料				175,753
容器包装処理業務委託料				1,909
廃乾電池・廃蛍光管資源化処理業務委託料				5,554
不燃ごみ資源化処理業務委託料				88,350
木製家具等資源化処理業務委託料				11,321
鉄屑類等資源化処理業務委託料				6,116
粗大ごみ等収集用シーラー販売委託料				1,272
フロンガス破壊処理委託料				44
ピット前検査機電気設備工事				614
ピット前検査機購入費				19,320
ピット前検査機電源供給用発電機購入費				1,029

・ 分別設備運営事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,028

事務補助嘱託員費用弁償

56

不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料

695

鹿嶋市環境保全協力金

233

ごみの焼却量(名越・今泉クリーンセンター実量)

(単位:t)

区 分	22年度	23年度	24年度
家庭系	26,371	25,698	24,890
事業系	14,018	13,402	13,001
合 計	40,389	39,100	37,891

主な資源物の内訳

(単位:t)

品 目	22年度	23年度	24年度
飲食用カン・ビン	2,115	2,117	2,095
ミックスペーパー 紙パック	2,703	2,632	2,604
容器包装 プラスチック	2,158	2,162	2,163
ペットボトル	487	498	511
植木剪定材	11,439	11,226	10,867
新聞、雑誌 段ボール、布類	8,455	8,695	8,469
合 計	27,357	27,330	26,709

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

植木剪定材堆肥化事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市内で発生する植木剪定材を堆肥化することにより、循環型社会の形成を目指すため。
ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

効果 植木剪定材を堆肥化することにより、ごみの減量・資源化が図られるとともに、生成した堆肥を市民へ配布することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 植木剪定材堆肥化事業

- ・市民及び造園業等事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで運搬し、処理を行った。
- ・処理を行った植木剪定材を委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

植木剪定材の資源化(3-3-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,472	150,069	134,968		15,101

主な支出内訳

・植木剪定材堆肥化事業

植木剪定材受入事業場維持修繕料

4,352

植木剪定材堆肥化事業業務委託料

128,406

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

減量化資源化運営事業

資源循環課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 減量化資源化運営事業

- ・ごみの発生抑制及び減量・資源化事業に協力する自治会・町内会に対して、3R推進事業奨励金を交付した。
- ・一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、出前説明会の開催、環境教育、ごみダイエット展、キャンペーン等を実施した。
- ・事業所向けの啓発事業として、説明会の実施、パンフレットの配布及び訪問指導等を行った。
- ・大型生ごみ処理機を地域等に設置し、生ごみの減量・資源化に努めた。
- ・生ごみ処理機購入費補助金を交付し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみの発生抑制の啓発(3-3-1-①)

生ごみの排出抑制(3-3-1-②)

事業系ごみの分別・資源化(3-3-2-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,664	37,644	32,700		4,944
主な支出内訳				
・減量化資源化運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
3R推進事業奨励金				4,857
事務補助嘱託員費用弁償				59
啓発用消耗品費				1,013
生ごみ処理機購入消耗品費				4,706
鎌倉ごみ減量通信印刷製本費				358
資源物50音別分別区分冊子印刷製本費				206
啓発用チラシ等印刷製本費				232
大型生ごみ処理機用光熱水費				739
減量・資源化啓発委託料				339
大型生ごみ処理機保守管理委託料				1,928
大型生ごみ処理機賃借料				2,626
生ごみ処理機購入費補助金				12,167
リユース食器補助金				157

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎し尿一般の経費

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) 深沢クリーンセンター管理運営事業

・ 深沢クリーンセンターでのし尿の処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,995	10,424	9,174		1,250

主な支出内訳

・ 深沢クリーンセンター管理運営事業

電気料	4,174
水道料	2,766
警備業務委託料	450
窓ガラス等清掃業務委託料	66
ファクシミリ付複写機保守点検業務委託料	32
場内樹木管理業務委託	429
下水道負担金	1,040

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎収集の経費

し尿収集事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿収集事業

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,827	21,676	20,118		1,558

主な支出内訳

・し尿収集事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,028

事務補助嘱託員費用弁償

64

し尿収集運搬業務委託料

18,842

し尿処理手数料徴収業務委託料

184

し尿等の処理量

(単位:kl)

種 別	22年度	23年度	24年度
し 尿	1,371	1,181	1,147
浄化槽汚泥	3,675	3,487	3,189
合 計	5,046	4,668	4,336

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎処理の経費

し尿処理事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿処理事業

・し尿及び浄化槽汚泥の放流処理施設の運転及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,177	18,797	18,727		70

主な支出内訳

・し尿処理事業

薬剤等消耗品費 2,414

施設維持修繕料 12,001

残土処分業務委託料 156

脱臭用活性炭交換業務委託料 3,129

オーバースライダー定期点検業務等委託料 90

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境政策担当)・環境保全課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		161,637
・ 給料	一般職	78,355
	一般職職員	18人
	再任用(短時間)	2人
・ 職員手当等		57,802
	扶養手当	3,566
	地域手当	10,788
	通勤手当	2,252
	超過勤務手当	3,402
	休日給	23
	管理職手当	900
	特殊勤務手当	623
	期末勤勉手当	30,666
	住居手当	3,842
	子ども手当	290
	児童手当	1,450
・ 共済費		25,480
	市町村職員共済組合負担金	24,762
	社会保険料	510
	雇用保険料	208

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

環境美化事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりが促進されるとともに、散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 環境美化事業

- ・公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務、市内に設置した観光ごみ等分別式容器のごみ回収業務を実施した。

(2) 海岸清掃事業

- ・(公財)かながわ海岸美化財団への海岸清掃事業費負担金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,971	22,097	21,984		113
主な支出内訳				
・環境美化事業				
不法投棄物(家電リサイクル法適応分)処理手数料				137
観光ごみ等拠点回収業務委託料				4,873
花火大会翌日集積ごみ回収処理業務委託料				95
花火大会夜間特別拠点回収業務委託料				84
不法投棄物処理業務等委託料				100
・海岸清掃事業				
(公財)かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金				16,604

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

公衆トイレ清掃事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公衆トイレの維持、清掃を通じまちの美化を推進、良好な都市環境を向上させるため。

効果 快適で清潔なトイレの実現が図られる。

【事業の内容】

(1) 公衆トイレ清掃事業

- ・公衆トイレ(39箇所)の日常清掃業務及び維持管理業務を行った。
- ・鎌倉駅東口公衆トイレ前に募金箱を設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,281	47,481	44,342		3,139
主な支出内訳				
・公衆トイレ清掃事業				
公衆トイレ電気料				1,355
公衆トイレ水道料				14,228
公衆トイレ維持修繕料				1,110
公衆トイレ清掃業務委託料(公衆トイレ39箇所)				24,517
公衆トイレ消臭器保守点検業務委託料				867
汚物水中ポンプ槽内清掃業務等委託料				531
鎌倉駅東口公衆トイレ募金箱作製委託料				1,046
公衆トイレ電気料負担金				320

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

美化運動事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 落書きや、吸い殻などの散乱ごみがない美しいまちの形成が推進される。

【事業の内容】

(1) 美化運動事業

- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙防止指導員を配置し、路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

まち美化の推進(3-3-4-①)

路上喫煙防止の推進(3-3-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,791	13,504	11,503		2,001
主な支出内訳				
・美化運動事業				
路上喫煙防止指導員報酬 7人				6,220
事務補助嘱託員報酬 1人				1,029
まち美化推進協議会委員報酬 12人				72
まち美化清掃活動奨励金				1,189
まち美化推進員報償費				250
路上喫煙防止指導員費用弁償				768
事務補助嘱託員費用弁償				94
清掃用具等消耗品費				396
喫煙場所灰皿清掃業務委託料				674
路面啓発シート作成業務委託料				441
クリーンアップごみ回収処理業務委託料				151
落書きのないまちづくり事業負担金				150

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境政策の経費

環境基本計画推進事業

環境政策課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標の達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

【事業の内容】

(1) 環境基本計画推進事業

- ・東日本大震災を契機とする国のエネルギー政策の見直し等を踏まえ「環境基本計画」の改訂を行った。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、「かまくら環境保全推進会議」を通じて、環境マネジメントシステムや環境教育の推進、緑のカーテン設置など環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・環境負荷低減のため太陽光発電設備設置費及び雨水貯留槽の設置費の助成を行った。
- ・鎌倉市エネルギー施策推進委員会を設置し、公共施設における太陽光発電屋根貸し事業、蛍光灯のLED化事業、デマンドメーター導入事業等の課題について検討を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市連携の推進(0-Ⅱ-6-①)

環境政策の推進(3-3-6-①)

環境教育の推進(3-3-6-②)

雨水利用の促進(3-3-6-③)

太陽光発電設備助成(3-3-6-④)

地球温暖化対策の推進(3-3-6-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,651	22,851	20,264		2,587
主な支出内訳				
・環境基本計画推進事業				
環境審議会委員報酬 12人				358
環境審議会部会委員報酬 5人				0
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
環境保全に関する講師等謝礼				47
かまくら環境保全推進会議委員謝礼				69
エコアクション21普及アドバイザー等謝礼				110
環境教育アドバイザー等講師謝礼				492
環境保全促進助成事業講師等謝礼				309
事務補助嘱託員費用弁償				91
環境審議会委員費用弁償				51
緑のカーテン購入費				95
不要紙類一時保管運搬業務等委託料				1,834
電気自動車急速充電器保守業務委託料				101

電気自動車駐車場料金負担金(都市連携)	96
雨水貯留槽購入費補助金	583
太陽光発電設備設置費補助金	14,748
主な特定財源	
・ 国県支出金	10,033

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎公害対策一般の経費

環境保全事業

環境保全課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【事業の内容】

(1) 環境保全事業

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善勧告命令を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実に図った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深夜花火の防止の普及(3-3-5-①)

生活排水設備の整備(3-3-5-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,798	10,798	8,860		1,938
主な支出内訳				
・環境保全事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				46
環境保全啓発小冊子等印刷製本費				100
地盤沈下精密水準測量調査業務委託料				567
自動車排出ガス等環境調査業務委託料				2,077
河川水質調査業務委託料				496
有害大気汚染物質分析業務委託料				374
大気中二酸化窒素濃度調査試料分析業務等委託料				739
自動車騒音常時監視業務委託料				2,027
深夜花火巡回警備業務委託料				932
合併処理浄化槽設置補助金				0
主な特定財源				
・国県支出金				
				429

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 衛生・害虫駆除事業

- ・ ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,724	4,724	4,252		472
主な支出内訳				
・ 衛生・害虫駆除事業				
有害虫駆除相談臨時的任用職員賃金				268
害虫駆除用薬剤等消耗品費				2,155
車両等燃料費				454
車両修繕料				227
佐助墓地除草業務委託料				182
軽自動車購入費(1台)				844

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

犬の登録等事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 犬、猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【事業の内容】

(1) 犬の登録等事業

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録促進について、広報かまくら等により周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を奨励し、飼い主のいない猫の繁殖の防止を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレートの配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取り組みを検討した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,548	5,548	4,993		555

主な支出内訳

・ 犬の登録等事業

事務補助嘱託員報酬 1人	1,028
集合注射受付事務等臨時的任用職員賃金	584
事務補助嘱託員費用弁償	63
犬の登録事務等消耗品費	461
犬の登録・注射促進協力等業務委託料等	899
湘南獣医師会補助金	171
猫に対する不妊去勢手術補助金	763
飼い主のいない猫対策事業補助金	226

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

鳥獣保護管理対策事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【事業の内容】

(1) 鳥獣保護管理対策事業

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣を捕獲、または捕獲されたものの県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,939	7,939	7,912		27
主な支出内訳				
・ 鳥獣保護管理対策事業				
事務補助嘱託員報酬 3人				3,084
事務補助嘱託員費用弁償				210
現場作業等消耗品費				325
有害鳥獣駆除等業務委託料				4,292
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,640